

質問 83. 神の国のカギとは何ですか。

答え I 聖なる福音の説教と、教会の戒規（あるいは、キリスト教会から除名）のことです。神の国の門は、この二つを通して信じる者たちには開かれていて、信じない者たちには閉ざされています。⁰¹

① 教会の戒規は、聖徒同士の交わりを制限させるだけでなく、それ以上の範囲に拡張されます。一時的でありながら、永遠に教会から除外させることです。神の国の鍵はそれを施行しなさいとして与えられた権威に対する比喻です。それは、ペテロにも与え（マタイ 16:19）、すべての使徒に同じ方式で与えられ（マタイ 18:18, ヨハネ 20:23）、教会に与えました。このような戒規は、市民法としての性格は持っていないまでも、ただ霊的なことです（Ⅱコリント 10:4-6）。

② 教会はこの権威を使用すべきですが、それは、罪人を救うためにです。例えば、除外の場合でも、悔い改めのための、いわゆる最終的な処方です。そして、会衆を悪から保護するためです。罪悪は、すべての人の心を捕らえてしまうものです。戒規は、主の御名を聖く維持させようとのことです。教会は、キリストの命令に従ってそれを施行しなければならないので、主のみことばでは、神の国へ受け入れられる者と、排除されるべき者について、はっきり言及しているからです（イザヤ 3:10-11）。ここで、二つのカギとは、福音説教と教会の戒規です。

01 マタイ 16:19, ヨハネ 20:21-23.

質問 84. 神の国が、聖なる福音説教によって、どのように開かれ、閉じられますか。

答え I キリストの命令に従って成し遂げられます。福音がすべての者に説教され、その中で、すべて信じる者たちが、まことの信仰によって福音の約束を受け入れる時、彼らのすべての罪は、キリストの恩徳によって実際的に赦されます。ところが反対に、公的に福音が証言されているのにも信じないで、真実に悔い改めもしない者は、神の審判に直面するようになり、永遠に罪の定めに置かれるようになります。彼らが回心しない限り、神の福音の証言と伴って、この世において、また来たるべき世においても審判を受けるようになるでしょう。⁰¹

① 神の国は、説教を通して開かれます。福音説教、また、キリストによる贖い説教を通して、それを信じる個人に開かれます。このように信じる者は、キリストの恩徳を根拠にして罪の赦しを受け、罪の赦しに対する確信を得るようになります。その時、彼らの私罪は、まるで神の口から罪が赦されたという、宣言を直接聞いているように確かです(エゼキエル 33:11, ヨハネ 6:37, ルカ 10:16)。

② 一方、神の国は、説教を通して閉じられます。福音説教が彼らに伝えられても、受け入れもせず、悔い改めない場合には閉じられます。彼らには、神から、永遠の罪の定めしかありません。事実、福音説教とは、彼らに、自分の罪に対して神の審判から逃れる道を知らせてあげることです。それにも関わらず、その説教を軽くあしらい聞かないで、受け入れないのなら、神の審判は避けられないのです(ヨハネ 8:24, マタイ 3:7-8)。従って、彼らにとって福音説教は、むしろ、神の審判の根拠を作ることとなります。

01 マタイ 16:19, ヨハネ 3:31-36, 20:21-23.

③ このように福音説教は、神の国が開かれるようにすると同時に、閉じるようにすることです。福音説教は、この地においてだけ起こりますが、有効に適用される者には、この地での生活は勿論で、永遠の命までも得られることになります（ロマ 2:16, マタイ 18:18）。しかし、罪が赦されるべき必要性を悟れないうで、必要としない者たちは、この地での審判と永遠の審判に処せられるようになります。従って、今日、この地において説教される福音がどれほど重要なのか、その貴重さと厳しさを同時に悟らなければなりません。

質問 85. どのようにして、天国の門が、教会の戒規によって閉じられ、開かれますか。

答え I それは、キリストの命令によることです。キリスト者と言われながら、非キリスト教的な教理を信じ、非キリスト教的な生活をしながら、兄弟たちの継続的な勧告にも関わらず、自分の誤った教理を捨てないで悪の生活を続けて生きるなら、教会に知らせ、教会から指名された人を彼に遣わすべきです。それにも関わらず、訓戒を無視する者は礼典に参加できないように禁じ、教会から排除させるべきです。そのような者は、神さまも、キリストの国から締め出すでしょう。⁰¹ しかし彼らが約束して、変化された生活を見せてくれるなら、キリストとその教会の会員として再び、受け入れられます。⁰²

① 教会の戒規は、教会の権威を表わす機会として使用されるものではありません。教会の会員の資格を剥奪する手段を使用することで、除名された者を悔い改めに導くためです。

01 マタイ 18:15-20, I コリント 5:3-5, 11-13, II テサロニケ 3:14-15.

02 ルカ 15:20-24, II コリント 2:6-11.

会員資格剥奪は、神のみことばによる有益を、それ以上、得られないようにすることです。従ってこれは、霊的な懲らしめの目的として施行されることです。

教会は会員たちに、教会の戒規と除名の施行について強調しています。それは、まことの教会のしるしだからです。それは、神のみことばが純粋に説教され、礼典が正しく施行されるだけでなく、敬虔な生活が主張されるようにするためです。従って、戒規の施行は、教会の聖さを維持させる方便となります。

② 教会の会員となるために、洗礼を受ける条件には、教会のこのような戒規について認め、受け入れるのかが含まれます。教会で戒規を行える者は牧師と長老たちです。教会の戒規は、真実に行われるべきで、徳を立てるためにあるべきです。それゆえ、改革派教会では、戒規を実施する時、会衆の前で、公開的に厳しく責めます。教会は、会衆の前で戒規を受ける者は、キリストの聖餐に相応しくない者と宣言されます。悔い改めも同じように、会衆の前で公開的にするようにさせます（ルカ 14:28-30）。

③ カルブアンは、たとえ、小さな団体や家庭だと言っても、戒規がなければ、敬虔が維持できないと見ました。従って教会は、さらに戒規が必要で、個人に対する訓戒と戒規がなければ、説教が効果的でないとしました。また教会は、キリストの福音教理について反対する者たちを戒規することで、さらに純粋に保全されます。反対に教会が戒規を実施しなかったために、教会の中に悪がさらに進行されるなら、それ以上、キリスト教会でない姿に転落してしまうでしょう。

戒規の進行は、先ず兄弟として訓戒し、その次に、教会で定められた者によって訓戒させます。それにも、彼が聞かないなら、礼典の参与を停止します。そのように戒規をする目的は、キリストの教会が締めりのない行動を容認することで、神の御名と教会を冒瀆させることを防ごうとするためです。このような戒規は、小さなパン種が粉全体を膨らませることのないように、遅らせない

で施行すべきです。戒規は、罪人を悔い改めさせようとすることです。従って、教会の戒規には例外がありません。それは、キリストの命令だからです。戒規の重要性は、教会の聖さと福音教理が妨げられないようにするところにあります。

教会史において改革教会は、厳格な戒規の施行によって、肉的な者たちと偽善者たち（偽り信仰告白者たち）が、教会に溢れないようにしました。初期、韓国教会でも、戒規が厳格に施行されました。教会の中に嘘の告白者と、偽善者たちが溢れないようにし、敬虔の力を所有する教会として立てるための努力だったのです。